

第2回 新エネルギー利用特措法検証委員会（資料）

風力発電事業者懇話会 堀 俊夫

1. 平成15年度風力発電の募集状況

北海道電力

募集規模：10万kW程度

一般募集枠：8万kW程度

道内地方公共団体募集枠：2万kW程度

募集方式：抽選（4月16日実施）。（道内地方公共団体の募集が少なかったことより追加(16,400kW)の募集中）

応募状況：一般募集枠：70件 65.1万kW（競争倍率：8.1倍）

道内地方公共団体募集枠：4件 0.4万kW（競争倍率：0.2倍）

購入価格：「電気」のみを購入対象とし、購入価格は3.30円/kWh。

「新エネルギー等電気相当量（RPS）」は事業者が北海道電力以外の電力会社と交渉し、RPS価格を決定する必要がある。

九州電力

募集規模：7万kW程度（入札）（離島600kW募集するも応募なし）

5万kW程度（抽選）（離島3,250kW募集結果、3件1,800kW応募）

募集方式：入札（4月25日実施）

抽選（8月20日実施）

応募状況：入札：8件 114,400kW（競争倍率：1.6倍）

抽選：52件 673,480kW（競争倍率：13.5倍）

購入価格：入札：「電気」+「RPS」で一括購入。落札価格の水準は上限価格(11.50円/kWh)より一割弱安。

抽選：「電気」+「RPS」又は「電気」のみ購入。「電気」のみの場合の購入価格は3.00円/kWh。

東北電力

募集規模：9万kW程度（入札：2,000kW以上）

1万kW程度（抽選：2,000kW未満）

募集方式：入札（9月24日実施）

抽選（5月20日実施）

応募状況：入札：25件 527,850kW（競争倍率：5.9倍）

抽選：42件 58,350kW（競争倍率：5.8倍）

購入価格：入札：「電気」+「RPS」で一括購入。落札上限価格は 10.00 円/kWh。

抽選：「電気」のみを購入対象とし、購入価格は 3.00 円/kWh。

「RPS」は電気事業者が東北電力以外の電力会社と交渉し、RPS 価格を決定する必要がある。

東京電力他：相対取引で協議・決定予定。因みに、北陸電力は 1 万 kW を上限価格：10.50 円/kWh で募集し、入札（5 月 23 日）結果 1 社が応札し、9,000kW が決定した。

2 . RPS 法施行後の動き

RPS 法施工後の操業中案件（既設分）は、同法にしたがい RPS 分も全量各電力会社に帰属。建設中案件についても各電力会社への帰属手続き中。

3 . 平成 15 年度募集以降の検討事項

募集量：平成 15 年度については、上述のとおり 33 万 kW 以上（最終：40 万 kW 程度）の募集が実施されたが、平成 16 年度は北海道電力が募集をしないこと、並びに、大口募集者である東北電力・九州電力などの方針が未定であり、大幅に募集が減る可能性がある。

募集方式：北海道電力・九州電力・東北電力にて新たな募集方式として抽選方式が採用されたが、事業者としての努力が報われないこと及び経済原則が働かないという問題点があることより、来年度以降はかかる募集方式を取り止める必要がある。

因みに、ある抽選では、風速計も設置していない、土地も確保していない事業者が抽選に参加しており、まじめに風況観測・環境アセス・土地確保・許認可事前交渉などをお金と時間をかけて実施してきた事業者と同列で抽選される状況にあったとの噂が出ているが、これが本当であれば公平性の観点に欠けた募集方式であったといわざるを得ない。

以上